

キッズシリーズ⑪

いんとうえん

へんとうえん

咽頭炎・扁桃炎



宣言
 明るい笑顔
 すぐ返事
 伝える元気

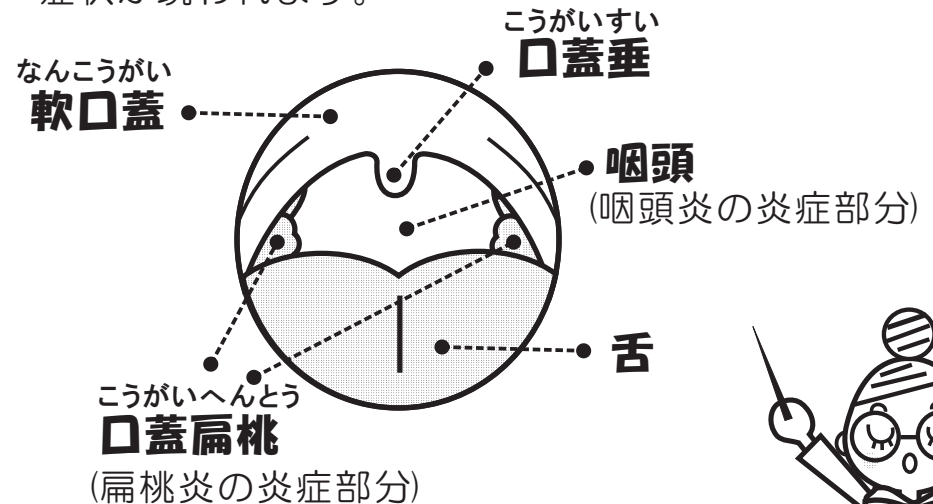
かちどき薬品 ホームページ
げんき君 健康に関する情報がいっぱい
<http://www.genki1616.co.jp>

かちどき薬品グループ

いんとうえん 「咽頭炎」・へんとうえん 「扁桃炎」どんな病気？

のどの入り口、
咽頭 (口を開けて中を見た時の突き当たりの部分) 付近に
 炎症が起きるのが「**咽頭炎**」
 のどの奥の扁桃 (のどの両サイド部分) に
 炎症が起きるのが「**扁桃炎**」

咽頭・扁桃には健康なときにも溶血性連鎖球菌(溶連菌)、
 ブドウ球菌、肺炎球菌などいろいろな常在菌がすみつ
 いています。
 通常は扁桃腺が体内に入らないよう抑えていますが、
 風邪をひいたり、過労などによって免疫力が落ちると
 症状が現われます。



咽頭炎・扁桃炎のどちらの場合も
ほとんどが風邪を引き起こすウイルスが原因です。
一般的に、ウイルスが原因の咽頭炎・
扁桃炎は症状もそれほど重くなく、
風邪と同様のケアをしていれば、
ほとんどよくなります。
要注意なのは『細菌』が原因の場合です。



…検査と診断…

のどを診て、問診で症状の経過を知る
ことで簡単に診断することができます。

…受診のタイミング…

家での経過を見ましょう。

- ・高熱がでる
- ・食事がとれない

といった症状が現われた場合は、
診療時間に医療機関へ。

…主な症状…

咽頭炎・扁桃炎は、インフルエンザ・百日咳・はしか・
溶連菌感染症・肺炎などの初期症状ということも考えら
れます。

<ウイルス性の咽頭炎>

～症状～

- のどの痛み・不快感がおき、物を飲み込む時に痛みがある
- 咽頭粘膜が赤く腫れる
- 頭痛
- 発熱
- 急性鼻炎を合併して、鼻水やくしゃみがでることも多い

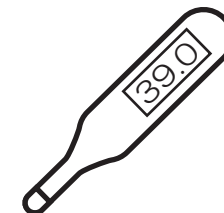
～原因～

ウイルスの感染によって起こります。
二次的に細菌感染が起き、悪化することもあります。

<ウイルス性の扁桃炎>

～症状～

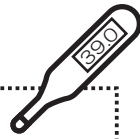
- のどの痛み、物を飲み込む時には特に痛みがある
 - 39度前後の高熱が出る
 - 全身倦怠
 - 食欲不振
 - のどの奥に白い粒ができる
 - 声のかすれもでてくる
- ※咳・鼻水といった症状はみられません。



～原因～

扁桃は呼吸器の入口で、ウイルスや細菌の侵入を止める
働きがあり、ここに病原体がつくことで炎症を起こします。

<細菌性の咽頭炎・扁桃炎>



注意

高熱がひとつのサインです。

細菌が体内にまで広がると合併症を起す可能性があります。

～症状～

○熱が高いのに、咳や鼻水などの症状もなく、機嫌が悪い
○水分を取らせようとすると嫌がる
○ぐったりしている
などの様子が見られたら、細菌性の咽頭炎・扁桃炎を疑って、早めに医師の診断を受けてください。

「細菌性咽頭炎」は

白い膿が粘膜に付着していることがあります。

「細菌性扁桃炎(化膿性扁桃炎)」は

扁桃腺が赤く腫れるだけでなく、表面に白い膿がべったり付いているのがみられたりします。ひどくなると首やあごのリンパ腺が腫れることもあります。

～原因～

- ・『溶連菌』によるもの
⇒熱が下がった2～3週間後にリウマチ熱、急性腎炎などを起すことがあります。
- ・『インフルエンザ菌』(インフルエンザウイルスとは別のもの)や『肺炎球菌』によるもの
⇒細菌性の気管支炎や肺炎を引き起こすことがあります。

…咽頭炎・扁桃炎の治療法…

どちらの病気も薬を服用することで治療します。安静にしていれば3日～1週間程度で治ります。のどの病気なので、発声を抑えることも効果的です。

○ウイルス性の場合

どちらも風邪と同様に、安静にしていれば回復に向かいます。殺菌や粘膜の保護効果のある薬やトローチ、消炎剤が処方されることもあります。

- ・咽頭炎は2～3日
- ・扁桃炎は急によくはならないのが普通ですが、1週間程で症状は治まります。



○細菌性の場合

抗生物質を使った治療になります。溶連菌や肺炎球菌などの細菌が原因で起こる咽頭炎や扁桃炎は、抗生物質での治療を行わない限り、熱も炎症もなかなか治まりませんので、早めに医師の診断を受けることが重要です。

注意

ウイルス性でも細菌性でも「脱水症状」が心配の場合は入院が必要になることも！



…家庭でのケア…

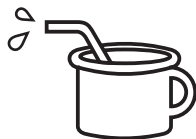
○普段から手洗い・うがいの習慣をつける。



○外出を控え家の中で安静に過ごす。

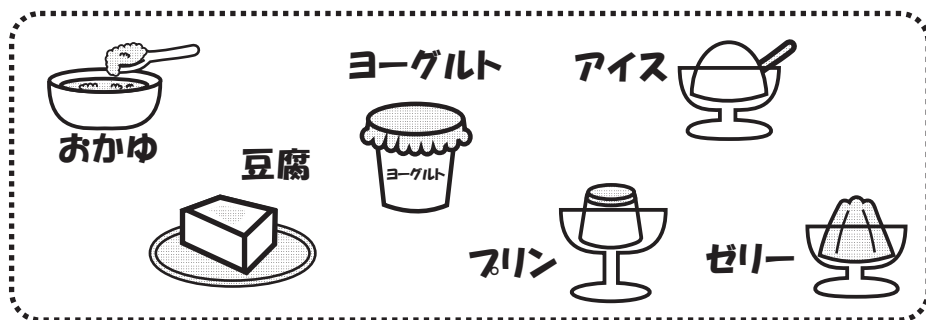
○水分の補給をこまめにする。

特に熱が出ている間は脱水症状に気をつけて、こまめに水分を補給することが大切です。おっぱいは飲みたがる分だけ飲ませましょう。



○のど・口内が痛くて食べられない時は消化がよくてのどごしのいいものにする。

ミルクや離乳食は無理強いしないこと。おかゆ、豆腐、ヨーグルト、プリン、アイスクリーム、ゼリーなどを食欲に応じて少しずつ与えましょう。食べられなくても水分さえ取れていれば、それほど問題ではありません。



○薬は症状が消えても、処方された分は最後まで飲みきる。

菌が完全にいなくなるまで、薬を飲み続けることが大切です。



○入浴は熱が下がりきるまで避ける。

温かいぬれタオルで体を拭いてあげましょう。

○高熱が出ている時は、体に熱がこもらないようにする。

首筋、脇の下、ももの付け根など動脈が通っている場所を氷枕などで冷やします。

衣服は1枚薄着、布団も薄めにしましょう。

汗をかいたら着替えさせるのも忘れないようにしましょう。

○幼稚園・保育園・学校は症状が消えてから通う。



こんな時は、もう一度病院へ

○少しの水分ものどを通らない

○高熱が出ているのに咳・鼻水などの症状がなく、ぐったりしている

